授業科目　神経内科学Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	作業
今村　徹	開講時期	前期	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>】
本科目の授業内容は神経科学（Neuroscience）である．神経科学は神経系の正常機能・構造の理解に裏付けられた論理的な思考によって，神経系を障害する疾患の基礎を理解することを目的とし，後期に開講する『神経内科学Ⅱ』の先行科目と位置付けられる．授業では，1年次で学習した内容を含む生理学・解剖学の知識・理論と神経疾患の理解が密接に結びついた領域を題材とする．1日の授業の中で，①神経生理学・神経解剖学．②実際の臨床場面で用いられる診察・検査法，③代表的な疾患の理解，にいたるまでを一連の流れとして学ぶ．授業中の演習課題とともに，予習項目と復習課題を授業ごとに指示する．

【<学習目標>】
神経疾患を逐次的に暗記することよりも，神経科学の考え方を理解することが目的である．

回数	授業計画又は学習の主題		学習方法･学習課題又は備考
		以下の3つの主題について計7回の授業を行う． 具体的な日程は改めて通知する．	担当教員：今村　徹
	末梢神経系	下位運動ニューロンと末梢神経の解剖学・生理学 神経伝導速度検査 末梢神経疾患・神経筋接合部疾患	学生を被検者とする神経伝導速度検査の演習を含む
	脊髄	上位運動ニューロン，体性感覚系と脊髄の解剖学・生理学 神経学的診察脊髄疾患 脊髄疾患	学生同士を対象とする筋伸張反射診察の演習を含む
	脳	頭蓋内中枢神経系の解剖学 頭部MRI画像検査	頭部MRI画像正常像読影の演習を含む

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年･価格･その他>
教科書	簡要神経学	岩田誠，岩田淳訳	MEDSI	2000年．3800円．ISBN：4-89592-249-9
	ベッドサイドの神経の診かた	田崎義明，斎藤佳雄	南山堂	1994年．7200円．ISBN：4-525-24715-0
参考書				
その他の資料	適宜配布する			

【評価方法】
定期試験による．（定期試験の受験許可は授業中の課題と予習課題，復習課題の理解，提出を前提とする）

【履修上の留意点】
言語聴覚学科『神経系の機能・構造・病態』，理学療法学科『臨床神経学』（前期分）と同一の授業内容である．